

「いなげの浜」における海浜イベントの実施と利用者の反応に関する研究

千葉工業大学生命環境科学科 学生員 ○大野 哲也
千葉工業大学生命環境科学専攻 学生員 遠藤 広悠
千葉工業大学生命環境科学科 フェロー 矢内 栄二

1. はじめに

「いなげの浜」は東京湾奥部に位置するレクリエーション目的とした国内初の人工海浜である。この浜は年々利用者が減少しているため、いなげの浜を運営する千葉市は、利用者増加のため利用者参加型のイベントの実施を考えている。

本研究では、利用者を増加させることを目的とした利用者意識についてのアンケート調査を2003年から実施しており、今年は新たにアンケート項目の1つである利用者の望むイベントを実際に実施し、利用者増加対策の検討を行った。

2. アンケート調査

調査海浜は、図-1 に示す千葉県千葉市に位置するいなげの浜である。調査期間は2010年4月～2010年12月までの9ヶ月とし、午後1時～午後3時に利用者へアンケート調査を実施した。

表-1 は、アンケート調査の設問内容を示したものである。性別、いなげの浜の印象、どのようなイベントに参加したいかなど17項目とし、これらの設問からイベント対象層や実施イベントを選定した。

(1) イベント対象層の選定

図-2 は、夏の浜利用者の構成(2010年6月～2010年8月)を示したものである。「家族」が59%、「友達」が30%、「一人」が6%、「その他」が5%となった。夏季の浜の利用者は、家族連れの利用者が最も多いので、イベント対象層を「子供連れの家族」とした。

(2) 実施するイベントの選定

利用者の望むイベントの集計結果を図-3 に示す。ここで、獲得票が10%未満のものは「その他」に分類した。「砂の彫刻」が18%、「海辺の安全教室」が15%、「ビーチコーミング」が14%となり、希望が最も多い「砂の彫刻」を開催することにした。



図-1 いなげの浜

表-1 アンケート設問内容

設問	アンケートの設問内容
1	あなたの性別を教えてください
2	あなたの年齢を教えてください
3	あなたは今日、誰と来ましたか
4	あなたは今日、どこから来ましたか
5	あなたは今日、どのような手段で来ましたか
6	今日、どのような目的で浜を利用していますか
7	あなたはどのくらいの頻度でいなげの浜を利用していますか
8	いなげの浜のゴミについてどう思いますか
9	浜では定期的にゴミの清掃を行っていることをご存じですか
10	浜のゴミは誰が清掃すべきですか
11	ゴミを減らす手段として最適なものはつぎのどれだと思いますか
12	いなげの浜の良い印象はありますか
13	いなげの浜の悪い印象はありますか
14	いなげの浜を将来的にどのようにしたら良いと思いますか。
15	以前浜に来た時と変化はありますか
16	いなげの浜にまた来ようと思いますか
17	イベントを開催するならどのようなイベントに参加したいですか

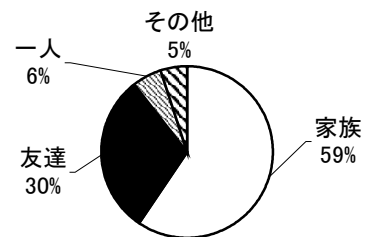


図-2 利用者の構成 (夏季)

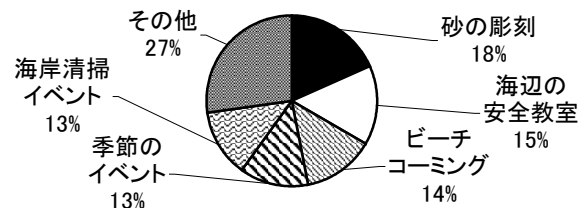


図-3 利用者の望むイベント

3. イベント実施

砂の彫刻イベント（写真-1）は浜の利用者が多い2010年8月に行った。また、イベントを行う際に、イベントに対するアンケートを35人の参加者に行った。表-2は、イベント時に実施したアンケート調査の設問内容である。気に入った作品、イベント増加時の利用頻度など6項目とした。

(1) イベント参加者の構成

図-4は、調査対象者の構成を示したものである。イベント対象層である「家族」が57%、「友達」が40%、「その他」が3%、「一人」が0%となった。図-2と図-4を比較すると、利用者とイベント参加者の構成は類似していた。このことから、今回のイベントは浜の利用者に広く支持されるイベントだったと考えられる。

(2) イベント参加者の反応

図-5は、イベントの開催頻度に対する回答を示したものである。イベントの開催を「増やしてほしい」が79%、「このままがいい」が21%となり、イベント開催を「増やしてほしい」という意見が「このままがいい」という意見を大きく上回っている。

図-6は、イベント開催増加時の利用頻度を示したものである。イベント開催増加時に浜の利用頻度が「増える」が54%、「変わらない」が43%、「減る」が3%となり、「増える」という回答が、「変わらない」、「減る」という回答を上回っていた。これらのことから、今回実施したイベントに対する要望はあり、今後継続して行うことで利用者増加対策になると考えられる。また、図-6で「変わらない」、「減る」と回答した浜の利用者を引き付けるためには、他のイベントの実施も検討する必要があると考えられる。

4. まとめ

今回実施したイベントは、今後継続して行うことで利用者増加対策になると考えられる。また、「利用頻度は変わらない」、「減る」と回答した浜の利用者の利用頻度を増加させるためには、他のイベントの実施も検討する必要があることが分かった。

参考文献

- 1) 矢内栄二・安東大地・清水陽一(2009)：都市部の人工海浜における利用者増加対策の検討，海洋開発論文集，Vol.25，pp.765-770．
- 2) 矢内栄二・矢島秀二・並木勇輔(2005)：人工海浜の海岸ゴミに対する利用者意識の変化，海洋開発論文集，Vol.21，pp.205-210．



写真-1 イベントの様子

表-2 アンケート設問内容（イベント用）

設問	アンケートの設問内容
1	気に入った作品
2	あなたの年齢を教えてください
3	あなたは今日、誰と来ましたか
4	あなたは今日、どこから来ましたか
5	このようなイベントを増やしてほしいか
6	イベント増加時の利用頻度

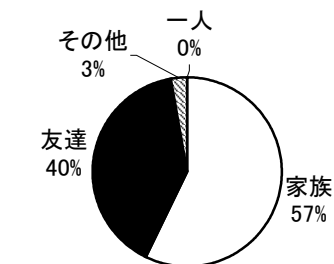


図-4 参加者の構成

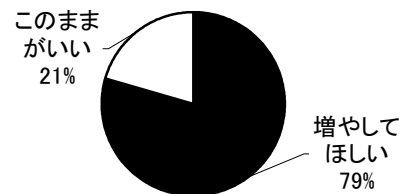


図-5 イベントの開催頻度

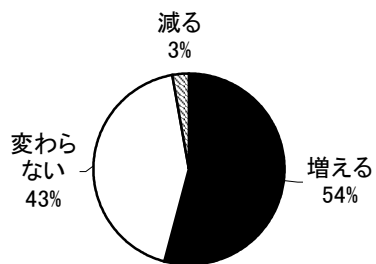


図-6 イベント開催増加時の利用頻度